

銚子市地域おこし協力隊 令和6年度活動報告書

隊員名	岡田 哲史	活動開始	令和4年12月1日
活動分野	多文化共生		

今年度の活動報告

活動の大部分は地域おこし協力隊（多文化共生）のロイターマン絵美さん（2025年3月で任期終了）と協働した。活動の様子をフェイスブックとインスタグラムで公開中。

[WorldTravel in Choshi\(@worldtravel_in_choshi\)・Instagram 写真と動画](#)

[\(9\) Facebook](#)

(ア) 銚子市における多文化共生の実現

① 銚台学習交流

4月から準備をはじめ、10月に訪台。主に現地小学校3校とハンドクラフト販売会にて、銚子・日本の文化紹介や授業を行った。帰国後、市内各所での展示による報告と、飯沼小学校での多文化体験授業を行った。

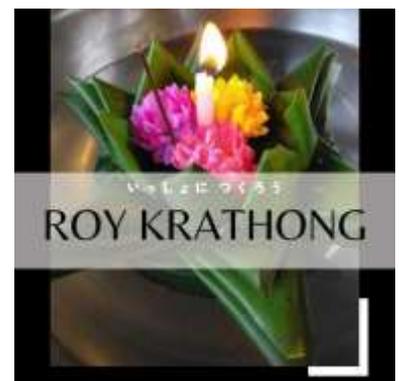


② 日本人と外国人の交流事業（例 World Travel in Choshi、通訳等言語サポート、料理教室、日本語教室）

1. World Travel in Choshi

4月中旬と11月下旬に実施した。4月はタイの正月（ソンクラーン）に時期を合わせてソンクラーンを模した催事・展示を行った。当日及びその後の国際交流協会への寄付も含め大過なく実施することができた。また、反省会を行いその後の小規模や同型イベントの参考にしている。前年度に「各自の負担や他の業務との兼ね合いも考え、この規模・趣旨のイベントの開催は年に2回を目安とすること」と目安を設け、それに沿った開催とした。

銚子市地域おこし協力隊 令和6年度活動報告書



2. 通訳等言語サポート

ALT のミーティング及び生活に関する通訳を行った。
8月末には国際交流協会主催の交流会に運営として参加し交流の機会を作った。市役所内の多言語化に関わる業務に担当した。例としてゴミカレンダーの翻訳、市民課自動化、税務課の催促状など。小学校での三者面談、受験手続などで都度支援を行った。



3. 料理教室

WTC 開催月をのぞき、月1回のペースで開催した。開催前の告知、講師の選定・打ち合わせ、資料作成、当日の運営、開催後の会計、大衆日報向けの原稿を担当した。



銚子市地域おこし協力隊 令和6年度活動報告書

4. 英語関係（例 姉妹都市、市民向け英語学習）

8月にALTとの交流会の企画運営を担当。そして夏以降、姉妹都市交流の再開に向けて努力している。クースベイ市との交流は、市内で協力者・関心のある人・学生などに向けて相談したが、英語力やスケジュールなどの問題があり実現に至らなかった。

8月にオランダのアムステルダム応用化学大学一行の市長・職員向けプレゼンの通訳を担当。



川口神社・千人塚の英語説明の更新、ABC クッキング シンガポールとのイベントの際の市長メッセージ翻訳などで貢献。

③ 情報収集・情報発信（例 SNS、現役及び元地域おこし協力隊、他自治体）

SNSでは既存のFacebook、Instagram等を継続中。特に年度の第四四半期からはInstagramでのイベント告知を担当している。SNS以外では、音訳グループ等隊の活動やそれ以外で知り得た伝手、市内外の地域おこし協力隊に向けて発信している。

同様の活動を行っている自治体に問い合わせを行い、銚子市での参考とすべく活動や取り組みの情報を得た。以下その例

- ・茨城県神栖市

米国の姉妹都市との交流、日本語を母国語としない小中学生への支援



- ・千葉県松戸市、茨城県取手市

日本語を母国語としない小中学生への支援

他、多文化共生以外・近隣地域の隊員と全国サミットや合同発表会で活動について発信した。

④ 地域人材の搜索（例 口コミ、交流事業による伝手）

WTC及び各業務で新たな人材や組織と繋がっている。WTC等のボランティア活動、料理教室講師、姉妹都市交流のアイデア出しなどで協力してもらっている。

例として、ゴミカレンダー及び市民課の多言語化において、在住ベトナム人、インドネシア人、フィリピン人、タイ人にネイティブチェックをお願いするなど、互いに信用を醸成している。

⑤ 研修、トレーニングの受講（例 自治体・省庁・企業主催の研修）

銚子市地域おこし協力隊 令和6年度活動報告書

プロ向け映像翻訳の講義を受講、現在プロ向けトライアルの結果待ち。8月から12月にかけて、茨城県国際交流協会とNPO コモンズ主催の「多文化ソーシャルワーク」を受講。

来年度の目標・予定

(ア) 銚子市における多文化共生の実現

① 日本人と外国人の交流事業

World Travel in Choshi (WTC)

→市内の外国人コミュニティを代表する店舗を中心に、多文化共生を感じられる店舗、非営利団体、学校等の展示・発表を行う。喫緊では4月13日(日)にタイのソングラン(水かけ祭)に因んだ回を開催予定。同型のイベントは、隊内の負担や協力団体との相談を元に、任期内(11月)にもう1回を検討中。以降は市内・地域での定着を視野に引継ぎ先を検討する。

通訳等言語サポート

→上記コミュニティや各業務による伝手の依頼ベースで行う。個人情報やプライバシーに触れることがあるため学校等の公共機関は慎重だが、都度地域おこし協力隊(多文化共生)の連絡先・可能なサポートを伝えて認知度を上げる努力をする。

料理教室

③ 情報収集・情報発信 (例 SNS)

情報収集

→近隣自治体、全国規模の研修、その他自己研鑽を通じ随時行う。特に近隣の多文化共生に取り組んでいる地域おこし協力隊・市町村の活動から情報を得る。

情報発信

→インスタグラムの更新を随時行う。催事など大きな行事の際は大衆日報社向けの原稿作成を継続して行う。

⑤ 研修、トレーニングの受講 (例 自治体・省庁・企業主催の研修)

→随時行う。受講後の資料、学びは多文化共生担当者間で共有する。

以下現在検討中

- ・ 多文化共生の地域づくりコース(JIAM)8月

その他(これまで活動してきた感想など)

※これまでの感想や市民に伝えたいこと、銚子の好きなどところなど、自由に記載してください。

多文化共生の業務の中で、イベントや教室のようなものは見て判りやすく発信しやすいです。一方、公的手続きや学校でのサポートなどは、見た目が地味且つ個人的な事情に関わるため広く発信しにくいです。

それでも、昨年度は大衆日報に20回ほど原稿を掲載していただき、フェイスブック・インスタグラムも日常的に更新するなどして発信してきました。その結果直接或いはSNSで多くの反響をいただいております。

銚子市地域おこし協力隊 令和6年度活動報告書

「多文化共生ってわかりにくい」「外国人のための業務でしょ?」と言われることがあります。その都度「銚子に前から住んでいる日本人、縁あって銚子に移住してきた外国人、両方にとって住みやすい町づくりのための仕事です」とわかりやすくお伝えしているつもりです。この説明が絶対の正解ではないと思いますが、関心や親しみを持ってもらおうよう努力しています。

思い描いた通りに進まないことや自分の知識・経験不足を感じることも多いです。それでも多くの方々のご協力をいただき、企画課をはじめとする市役所・公的機関のご指導のもと活動してまいりました。何より、多文化共生に先に従事していたロイターマン絵美さんは頼れる先輩でした。皆様に改めて感謝申し上げます。

昨年度終盤から、学校や言葉の勉強に関する活動・支援に比重を置いています。「児童生徒の日本語のことで相談したい」「学校で一緒に何かをしたい」「小学生から大学生まで、多文化に関わる活動やイベントに興味ある」などなど、ご相談お問い合わせはお気軽にお寄せください。

【お問い合わせ】銚子市 企画課 企画室 0479-24-8904